

事例8： 医療法人社団青山会 青木病院（東京都）の取り組み

「作業療法士による複数部署への看護業務支援で病棟運用の一助となった」

概要

- （状況） コロナ専用病棟以外・訪問看護ステーション・精神科大規模デイケアの看護師が、コロナ専用病棟に一時的に異動。
- （支援） コロナ病棟への患者リハ・レクに関する間接的支援。
コロナ専用病棟以外の手薄になった部分を業務支援。
- （結果） 看護師が携わる複数部署を支援することで病院運用の一助となった。

コロナ対応病棟での支援

- ・ 感染患者へのリハビリテーションの提供：なし
- ・ 活動・休息援助
（コロナ専用病床スタッフが行う体操、自主トレ：間接的支援）
- ・ 苦痛の緩和・安楽確保（創作活動などの相談に乗り、方法や素材を提供）

その他の病棟での支援

- ・ 活動・休息援助（トランスファー、離床：日課に伴う看護業務の補助）
- ・ 訪問看護（複数訪問、運転手人員として、作業療法室ならびにデイケア勤務作業療法士が実施）

病院プロフィール

- 病院の機能説明：
精神科病院
後方支援病院
地域連携型認知症疾患医療センター
大規模デイケア
訪問看護
- 総病床320床
- コロナ患者対応：あり
1病棟（14床）をコロナ専用病棟として軽症・中等症患者の治療
- 感染対策の教育：
臨時感染症委員会を随時開催し院内の対策を指示